

1. 事業運営方針

- (1) 脱炭素社会の実現に向けた動きが加速する中、消費者や電気に関わるサブユーザーなどへ、家庭の電気やヒートポンプ機器を始めとする高効率機器、最新の家電機器について情報提供するとともに、電気機器と太陽光発電、電気自動車、蓄電池などを活用した省エネで地球にやさしい快適な暮らしを提案する。
- 会員等の協力を得ながら、電気機器の省エネ性や経済性、快適性などを訴求するとともに、省エネルギー住宅や太陽光発電などと家庭の電化を組み合わせることが、省エネ性を高め、また、災害に強い暮らしにつながることを訴求する。
 - 収益事業については、当会の事業運営を継続するために必要不可欠であるため、会員の意見等を反映しながら、会員各社の事業活動に役立つことを基本に推進する。
 - 公益目的支出計画対象事業については、一般社団法人としての要件であり、認可された計画内容に基づき的確に推進する。
- (2) 事業継続を図るための事業運営基盤の強化を図る。
- コロナ禍の影響等により厳しい経営環境が続いているため、収支の改善に向け、引き続き、魅力ある刊行物の編集に努めるとともに、制作費や管理費等の一層のコストダウンに取り組む。

2. 実施事項

(1) 定期刊行物「月刊誌 ALLE Smart Life」の継続発行

(2) 刊行物「でんき DE ハウジング」の継続発行

(3) 各種刊行物の目標発行部数

- ・月刊誌 ALLE Smart Life 年間発行部数 84,500 部
- ・でんき DE ハウジング 発行部数 9,200 部

(4) 公益目的支出計画対象事業(電気のはなし WEB 版)は、内閣府の認可通り推進する。

令和5年度は小学生向け「電気のはなし」のデータ更新などを実施する。

これまでの当財産の支出額及び残額は下表のとおり。

(単位：百万円)

項目 時期	実績想定		計画		備考
	支出額	残 額	支出額	残 額	
一般法人移行時	-	56.5	-	56.5	公益目的支出計画対象財産
平成26～令和4年度	44.1	12.5	44.8	11.7	令和5年度以降3年間で完了予定
令和5年度	4.9	7.5	4.9	6.7	
令和6年度	4.9	2.5	4.9	1.8	
令和7(2025)年度	2.6	0	1.8	0	

注) 十万円未満切り捨てのため、合計額等が合わない場合がある。

(5) 運営等に関する会議を次の通り開催する。

月	運営のための会議	編 集 委 員 会	
4		・月刊誌編集委員会	
5	・経理及び事業監査 ・運営委員会（書面） ・第75回定時社員総会		・刊行物編集委員会（書面）
6		・月刊誌編集委員会	・刊行物編集委員会
7			
8		・月刊誌編集委員会	
9			
10		・月刊誌編集委員会	・刊行物編集委員会（書面）
11	・運営小委員会		
12		・月刊誌編集委員会	
1	・事業計画策定家電WG		
2	・運営委員会	・月刊誌編集委員会	
3	・臨時社員総会(2024年度事業計画)		

*やむを得ず役員が任期中に交替する必要がある場合は、臨時総会を開催し選任する。

*業務運営の円滑・効果的な推進等を図るため、状況に応じ、上記以外の時期にも会議等を開催する。

3. 令和5年度事業収支予算

令和5年度の正味財産増減計算書(案)は次の通り。

(単位：千円)

区 分 科 目	R5 予算 (A)	R4 予算 (B)	差 額 (A-B)
① 基本財産運用益	0	0	0
② 受 取 会 費	3,620	3,670	△50
③ 事 業 収 益	37,883	39,872	△ 1,988
④ 雑 収 益	0	0	0
経常収益計	41,504	43,543	△ 2,038
① 事 業 費	38,111	39,765	△ 1,653
② 管 理 費	3,383	3,765	△ 382
経常費用計	41,494	43,530	△ 2,035
当期経常増減額	9	12	△ 3
当期一般正味財産増減額	9	12	△ 3
一般正味財産期首残高	48,083	51,212	△ 3,128
一般正味財産期末残高	48,092	51,224	△ 3,132

注) 千円未満切り捨てのため、合計額等が合わない場合がある。